

学校教育自己診断結果データ分析（令和4年度）

1. 自己診断配付数及び回答数

令和4年度回答人数

	教員	生徒	保護者	合計
配付	61	889	889	1839
回答	59	846	651	1556
%	96.7	95.2	73.2	84.6

2. 観点別肯定率（肯定的回答の割合）

	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
【保護者】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	90	91	92	92
②学習指導に関するもの	76	75	72	72
③生徒指導、児童・生徒理解に関するもの	86	84	88	85
④進路指導に関するもの	89	86	82	84
⑤いじめに関するもの	88	89	86	87
⑥道徳教育・人権教育に関するもの	90	91	89	89
⑦情報提供に関するもの	89	86	82	78
⑧学校教育への参画に関するもの	85	62	41	78
【生徒】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	89	89	88	81
②学習指導に関するもの	88	89	86	84
③生徒指導に関するもの	82	82	78	75
④進路指導に関するもの	92	90	90	87
⑤いじめに関するもの	89	88	84	74
⑥教育相談に関するもの	74	74	63	68
⑦道徳教育・人権教育に関するもの	90	88	86	83
⑧特別活動、学校行事等に関するもの	95	84	90	91
【教員】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校組織に関するもの	83	86	76	80
②教育活動の改善に関するもの	78	91	68	75
③学習指導に関するもの	92	86	73	79
④生徒指導に関するもの	81	82	75	77
⑤進路指導に関するもの	90	90	86	85
⑥いじめに関するもの	86	91	77	95
⑦教育相談に関するもの	86	72	81	92
⑧特別活動、学校行事等に関するもの	95	83	76	75
⑨保護者への情報提供に関するもの	83	78	75	75

3. 分析

【学習指導】

○「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」については、生徒向けでは85%（R3:87%）に留まったが、教員向けで92%（R3:86%）と6ポイント増加した。また「ICTを使って授業を工夫するようになった」について、教員向けで97%（R3:90%）と7ポイント増加した。1年生から新学習指導要領が実施され、多くの教員が工夫を凝らした授業を行っており、次年度以降も校内研修を充実し、思考力を重視した授業を進めていく。

○「授業を受けることで知識が増えたり、技術が身についたりする」については、生徒向けでは91%（R3:91%）と高い割合を維持している。

○「到達度の低い生徒に対する学習指導を全体課題として取り組んでいる」については、教員向けで74%（R3:66%）と8ポイント増加、また「学習意欲の高い生徒に対する学習指導を個に応じた視点で行っている」については、教員向けで93%（R3:84%）と9ポイント増加した。1人1台端末の活用に関するものでは、生徒80%、保護者84%、教員88%と、8割以上の肯定的回答となった。今後も1人1台端末を効果的に使い、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かい学習指導を推進する。

【進路指導】

○「将来の進路や生き方について学ぶ機会がある」については、生徒は92%（R3:90%）と2ポイント増加、保護者も「進路について適切な指導を行っている」については89%（R3:85%）と4ポイント増加、教員は「一人ひとりにきめ細かい指導している」についても90%（R3:90%）と、いずれも高評価である。進路指導については学校目標の一つである『第一希望の進路の実現』を達成するために、大学等と連携した取組を実施していく。

【生徒指導】

○「学校生活についての先生の指導は納得できる」については、生徒向けでは82%（R3:82%）、保護者向けでは86%（R3:86%）であり、8割以上の肯定的評価を得ている。今後も生徒と保護者の両者の理解を得ながら、生徒指導を進めていく。○保護者は「家庭連絡や意思疎通がきめ細やかで相談に応じてくれる」が81%（R3:79%）で2ポイント増加、教員の「家庭との緊密な連携ができていく」が90%（R3:83%）と7ポイント増加している。今後も保護者の立場にたった相談対応をさらに推進していく。

○生徒の「学校には相談することができる先生がいる」については、74%（R3:74%）であった。教員の「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる」については、86%（R3:72%）と14ポイント増加であったことから、今後も様々な教員と気軽に相談できる体制を継続していく。

【学校運営】

○保護者の「授業公開などに参加」については、85%（R3:62%）と、R1年度の79%を上回った。また、生徒向けの「学校行事が盛んで、楽しく参加している」について、95%（R3:84%）であり、コロナ禍で制限されていた学校行事が、今年度、感染対策をしながら実施されたことで、肯定的な回答が多くなったと考えられる。今後も保護者に学校教育に参加してもらう工夫をしていく。

○「学校は日常の取り組みについて、ホームページ等で情報提供に努めている」については、89%（R3:86%）で3ポイント増加した。欠席・遅刻連絡をホームページから入力できるようにしたこと、ホームページの閲覧機会が増えたこと、校長ブログの配信が保護者に好評のようである。今後も積極的な情報発信に加え、学校の教育活動を伝わりやすくするよう工夫していく。